



市川市役所第1庁舎に設置された「everiwa Charger Share」のEV充電用コンセント

エブリワ ノ ワ  
**everiwa no wa 市川 Action**  
everiwa Charger Share

**市川市のEV充電インフラを整備し  
脱炭素やレジリエンス強化に貢献**

パナソニックは、共創型コミュニティ「everiwa」の活動の一つとして、EV充電器のシェアリングサービス「everiwa Charger Share」を2023年4月から運営している。これは、充電器を貸したい人と充電器を借りたい人をつなぐプラットフォームサービス。また、活動の一環として地域から社会課題解決をめざす共創プロジェクトを立ち上げ、その第1弾として千葉県市川市と連携して「everiwa no wa 市川 Action」を始動。EV充電器の設置促進を通し、全国に先駆けて「EVの充電に対する不安のないまちづくり」の先行

モデル地域づくりに取り組む。市川市は、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた取り組みを推進中で、EV普及促進の補助金制度や、公用車のEVシェアリングなどを積極的に進めている。この取り組みは、インフラ整備と意識啓発の両輪でEVの普及をめざすもの。今後は事業者や市民による充電器設置が進み、分散型電源であるEVが増加することで、電力需給が安定化し、災害時にも非常電源として利用されることによるレジリエンスの強化が期待されている。市の担当者は「プロジェクトは始まったばかりで充電スポット導入も市が牽引しているが、一般施設にも設置され、まち全体に広がって欲しい」と語る。

**everiwa no wa 市川 Action**

所在地／千葉県市川市  
協力／市川市  
サービス提供／パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社  
サービス開始／2023年4月



大洲防災公園の「everiwa Charger Share」充電スポット



生涯学習センター(中央図書館)の「everiwa Charger Share」充電スポット



市川駅南公民館の「everiwa Charger Share」充電スポット



EV充電器の二次元コードを読み込むと充電開始



「誰もが安心してEVでくらすまち」をめざして  
設置された充電器をシェアリングでオープンにすることで、充電スポット数を増やし、EV保有率アップ。まち中にEVが増えることで、再エネの有効活用や災害時の安心へつなげる。

